



公孫樹

知恵を出せ

汗を出せ

そして鍛えよう

令和6年2月25日発行 発行者：小山市立小山第二中学校長 矢口 大

「1月は行く、2月は逃げる」とは言いますが、本当に足早に毎日が過ぎていきます。3年生は私立高校の入試が終わり、いよいよ県立高校入試と卒業式を待つばかりとなりました。2年生は立志を迎え最上級生になる準備を着実に進めています。1年生も心身ともにすっかり逞しくなりました。日差しや小鳥たちの囀りは日に日に力強さを増し、春が近いことを教えてくれます。今号では、進級を控えた2年生、1年生の様子を中心にお届けします。

2年生 立志式 ～自分の花を咲かせよう～

2月5日（月）に2年生112名の立志式が行われました。私からは式辞として「桜梅桃李」について話をしました。

これは「桜梅桃李のそれぞれが美しい花を咲かせるように、自分を他人と比べること無く、自分自身を磨き、自分のよさを伸ばすことが大切だ」という教えを含んだ言葉です。今すぐに「自分のよさ」と言われても難しいかもしれませんが、14歳、中学校2年生として一日一日を大切に一生懸命学校生活を送り、謙虚に学び、努力を重ねながら、将来自分の花を咲かせてほしい思い、このような話をしました。

その後、各学級がステージ上に上がり、一人一人が立志の決意や将来の夢を発表しました。「人の



ステージに上がって、将来の夢や決意の発表です。

役に立てるようになりたい。」「心優しく、人を励ませるような人間になりたい。」等、14年間の成長を感じさせる素晴らしいものばかりでした。

また、各学級代表生徒による立志作文の発表や、保護者の皆様から御提供いただいた生徒たちの子どものころの写真をもとめた「思い出のスライド」の鑑賞もあり、内容の濃い、充実した時間となりました。

2年生保護者の皆様には改めてお子さまの立志にお祝いを申し上げるとともに、これからの益々の成長と活躍をお祈り申し上げます。

2年生は立志式に続き、9日（金）10日（土）に福島県猪苗代スキー場へ出かけ、スキー学習を行いました。

2年生 立志記念スキー学習

～For the Future リフトで上がる大人への階段～

猪苗代湖を望む絶景と最高のコンディションでした。



2日間とも天候に恵まれ、猪苗代湖や磐梯山を望む絶景の中で、楽しく充実した活動となりました。2日目には全員がリフトに乗って猪苗代スキー場特有の広々としたゲレンデを思い思いに滑れるようになりました。

また実行委員の生徒を中心に自主的、計画的に準備を進めたことで、生徒各自が自分の役割を自覚し、成長を実感できる活動を行うことができました。3年生への進級を控え、2年生のこれからの活躍を楽しみに思っています。



名峰磐梯山をバックに見事なトレインです。

1年生 結城紬着心地体験学習 ～郷土の文化遺産に触れました～

2月14日（水）に1年生が、国重要無形文化財、ユネスコ無形文化遺産に指定されている結城紬の着付けや糸つむぎを体験しました。これは「総合的な学習」の一環として郷土の産業や伝統文化について興味・関心を高めるとともに、郷土を愛する心を育てることを目的にしています。



糸つむぎの繊細な作業を体験しました。

当日は、講師の先生方の説明や手ほどきを受けながら、代表生徒が実際に結城紬を着たり、全員が糸つむぎを体験したりしました。

私自身、結城市出身ということもあり、子どもの頃身近に感じていた糸つむぎや、結城紬を久しぶりに見ることができ、懐かしく思いました。世界的にも貴重な完全手作りの絹織物である結城紬がこれからも受け継がれていくことを願っています。



結城紬は実際に着てみると、とても軽く温かいのが特徴です。

調理実習・美術作品

～生徒たちの個性が溢れています～

私はできるだけ1日1回は校内を巡回し、生徒たちの様子を見るようにしています。先日、西館を歩いていると、2階では調理室で2年生が実習を行っていました。班に分かれて「餃子」と「蒸し鶏の照り焼き」作りです。生徒たちはお互いに協力し合い、手際よく作業を進めていました。

4階に上がってみると、美術室で別の学級の2年生がポスターの下描き中でした。準備室には2年生が先日まで作成していた「和菓子」が展示してあり、その見事な出来映えに大変驚き、感心しました。

技能教科（音・美・保体・技・家）は生徒一人一人の感性や能力を幅広く発揮できる貴重な場です。本校が掲げる学力向上の一環として、これからも技能教科の授業の充実に努めてまいります。



見事な和菓子の完成です。

（小さくてすみません。）→

←授業後、生徒が餃子と鳥の照り焼きを届けてくれました。

